



# 森林レンジャーがゆく (134)

## 「連綿と」

市の豊かな自然を次世代に残すため、これまで行ってきた環境教育で代表的な事業が二つあります。一つは、平成24年度にスタートした市内小学生自然体験学習です。昨年度までの12年間で、9,206人が地域や自然について学習しました。もう一つは、森の子コレンジャーです。今年度で14期となり、これまで213人が年間を通して更に深く市の自然について学びました。

こうした環境教育は、地域の方々のご理解とご協力があってこそだと感じています。利用する道は、定期的に見回り等を行っていますが、地域の皆さんが郷土の恵みの森づくりとして山道や景観の整備を行っている場所もあります。野外学習中に雷雨となった時には、地域の方が自治会館を開けてくれたので安全に雨宿りできたこともありました。地域を歩くとお話ししてくださる方もいて「おかげで安全に楽しく学習できた」と話す参加者もありました。また、コレンジャーが10年前から整備している自然のための場所は、所有者の方から「誰も手入れをしなくなり、昔あった環境がなくなった。是非やってください。」と快諾いただいて今があります。この場所は、コレンジャーにとって大切な場所です。

自然体験学習の参加者の感想には「コロナで全てが中止になる中で、友人と市の自然に触れ合えて嬉しかった」「嫌いだった山登りが楽しかった。自然を大切にしたい」等や、年間を通して学ぶコレンジャーからは、「自然をもっと知り、自然と人のつながりを学びたい」等がありました。コレンジャーの中には、自然愛を活かすことができる部活動や進学先、就職先を選ぶ参加者もいることから、実体験が大きな影響を与えていることを改めて実感しています。

今年度も、市の多彩な宝を未来に引き継ぐためにみんなで守り育てていけたら、と思う5月です。

(加瀬澤)